

船舶事故等調査報告書

平成26年12月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014広第121号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成26年6月14日（土） 16時30分ごろ
発生場所	香川県多度津町二面島北東方沖 二面島灯台から真方位039° 400m付近 （概位 北緯34° 18.2′ 東経133° 37.5′）
事故等調査の経過	平成26年7月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーヨット ^{リオ デ リュニオン} Rio de Reunion、5.4トン 241-11093 広島、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	右舷船首船底外板及びバラストキール下端に擦過傷
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者2人を乗せ、香川県三豊市粟島北方沖を機帆走により西北西進中、平成26年6月14日16時30分ごろ、二面島北東方沖の干出岩に乗り揚げた。</p> <p>船長は、マリーナに救援を要請し、また、付近を航行していた通航船が海上保安部へ通報した。</p> <p>本船は、潮が満ちるのを待って、21時00分ごろ救援船によって引き下ろされ、その後、救援船に先導され、自力航行して広島県福山市千年港に帰港した。</p>
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期、潮高 約62cm（粟島）
その他の事項	<p>本船のバラストキール下端からの喫水は、約1.95mであった。</p> <p>本船は、レーダー、GPSプロッター及び魚群探知機を装備していた。</p> <p>船長は、出航前に海図で千年港までの航行経路を確認したが、二面島付近の干出岩などは確認していなかった。</p> <p>船長は、陸岸から100～200m離せば、安全に航行できると考えていた。</p> <p>船長及び同乗者2人は、救命胴衣を着用していた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与	あり なし なし

判明した事項の解析	本船は、粟島北方沖を機帆走により西北西進中、船長が二面島付近の水路調査を行っていなかったことから、二面島北東方沖にある干出岩を知らずに航行し、同干出岩に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、粟島北方沖を機帆走により西北西進中、船長が二面島付近の水路調査を行っていなかったため、二面島北東方沖にある干出岩を知らずに航行し、同干出岩に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・海図を確認するときには、航行予定海域の干出岩などの陰礁を調査すること。